

『その他の手立て』

課題を提示する

考える・聞く・見る

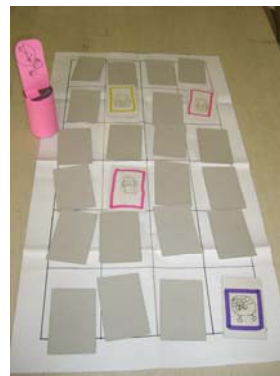


何をするのか聞き取ってね！ よく考えて答えてね！



しっかり見てね！

神経衰弱ゲーム
余暇の過ごし方
数の学習
記憶力アップ



★相手に自分の思いが伝わらない、相手の言っていることが伝わっていない

★不安、何をしたいのかわからない、いつまでやるの？見通しが持てない

⇒ ①思いを伝えられる手段を見つける

受容的コミュニケーションと表現的コミュニケーション
コミュニケーションボード

②生活環境をわかりやすく整える（流れ、手順、場所）

③スケジュールを伝える

どこで・いつ・何を・いつまで（どれぐらいの量）

どのようなやり方で・終わったら次ぎに何をするのか

⇩

・「理解すること」をサポート

・安心して、落ち着く、周囲の環境（状況）の理解

☆パニック、問題行動への対応

どんな時におこる？ きっかけは何だろう？

子ども⇔お母さん・先生どんなふうに伝えあっているかな？

☆ひとりひとりに合った支援の方法が必要

どのような手がかりでいろいろなことを理解し、判断しているのかな？

『さあ！次は〇〇だよ。』

ひとりでいけるかな？

先生のことばを聞いて？

周りの状況を見て？

他の支援が必要なら？

具体物を持ってきたら？

写真カードを提示したら？

絵カードを提示したら？

文字カードを提示したら？

『〇〇したい！』

行動、クレーン、指差し、身ぶり、マカトン、写真カード、絵、

ことば、文字、

・いろいろなことを『自分ひとりでできる』ように・・・

自分の力で考えて、自分の力で選んで、自分の力でやり遂げた時、

『楽しい、うれしい、できた、わかった』⇨ 成功体験、自尊心